

令和 7 年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和 8 年 2 月 2 7 日

江別市立江別第一中学校

1 本年度の重点目標

○本年度の学校経営重点目標
 共生 ～インクルージョンへの挑戦～

○学校経営の基本方針

□めざす生徒像
 夢・目標に向かって自ら学び、ともに協力、共存し、響き合う生徒

□めざす学校の姿
 「なりたい自分」への努力と協力があふれる学校

□めざす教師の姿
 自信と責任を持ち、生徒と響き合う教師

2 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
経営方針の重点	①学校教育目標の実現に向けた、全教職員による学校運営	A	・学校長が示すインクルージョンの理念を職員全体で共有し、教員間の連携と役割分担を明確にして支援体制を強化し、教育活動が充実・発展させることができた。	A	A
	②地域・保護者と連携し、信頼関係に基づく教育活動の推進	A	・CS や PTA と連携した防災学習を実施し、成果が見られた。今後も参加人数をどう増やすかが課題である。 ・PTA 活動が活発化し、協力する保護者が増加した。	A	A
	③教職員の服務規律の徹底	A	・全教職員に対し服務倫理研修を実施した。チェックリストを用いた自己点検を行い、意識の高揚を図った。	A	A

教育課程・学習指導	①知・徳・体のバランスのとれた教育課程の編成と年間計画に基づいた授業時数の確保	A	・「子どもが主役」となる学校づくりを根幹に据え、知・徳・体の調和がとれた教育課程を編成した。	A	A
	②確かな学力が身につく授業づくりの実践	A	・各教科の授業では、教員が教え込むスタイルから、子どもたちが問いを見つけ対話する「主体的・対話的で深い学び」への転換を推進。 ・研究部を中心に「効果的な対話の場面」を重視した授業づくりを進めた ・授業内の「対話」を深める一方で、基礎・基本の定着度には個人差が見られている。	A	A
	③支援の必要な生徒の把握と、個に応じた指導方法の工夫	A	・障がいを持った生徒への対応では、本人の希望や意見を尊重した個別支援計画を立て、本人が主体的に学習に参加できるよう努めた。 ・特別支援教育支援員や保護者、ボランティアと密に連携し、教育活動を行った。	A	A
	④豊かな心と思いやりを育てる道徳教育の実践	B	・防災学習を軸に実践し、自他の命を尊ぶ心と、困難な状況で周囲を支える「共助」の精神を養った。	A	A
生徒指導	①共通理解・共通行動を基本とした指導体制の確立	A	・学校行事や日々の学習活動において、生徒が「選択し、決定する」場面を意図的に創出し、自走する生徒集団を作るよう、「伴走者・アドバイザー」としての役割に徹する体制を確立した。	A	A
	②基本的生活習慣の定着を図るための地域・保護者との連携	B	・児童会生徒会役員によるあいさつ運動を行った。地域ボランティアの方々加わり児童生徒登校時の表情が明るくなり、規範意識の向上に繋がった。	A	A
	③生徒理解に基づいた教育相談の充実と関係機関との連携	A	・教育相談アンケート（Web Q-U 等）の定期的な実施と、それに基づく教育相談週間の充実を図	A	A

			<p>った。担任一人で抱え込まず、学年主任、養護教諭も関わり、組織的な対応を行った。</p> <p>・今後も、SC や (SSW) との連携を深めていくことが必要である。</p>		
	④学校におけるいじめの対処方針や指導計画など、迅速に対応する体制の整備	A	<p>・いじめアンケートを基に、その対応について「いじめ対策委員会」を開催し、管理職、主幹教諭、学年主任、養護教諭、等による多角的な情報共有を徹底した。</p>	A	A
	⑤不登校生徒の減少に向けての取組	B	<p>・「ゆっくり教室」を設置し、多様なニーズに応じたサポートを実施している。一方で、不登校傾向にある生徒や、家庭環境に複雑な課題を抱えるケースについては、関係機関とのネットワークをより強固なものにした。</p>	A	A
小 中 一 貫 教 育	①9年間の目指す子ども像・課題の共有と、系統性のある教育課程の実践	A	<p>・第三中校区との連携し内容を揃え、共通の目指す子ども像を設定し、両校区教職員および保護者・地域との共有に努めた。</p> <p>・9年間の系統的な指導の重要性を意識した重点指導項目をまとめたシートを作成した。</p>	A	A
	②学力向上・学習習慣確立を目指す小中一体となった取組の充実	A	<p>・学習と生活のスタンダード」を全ての教室に掲示し、生徒への指導や保護者・地域への周知発信を進めた。三中校区と共通のスタンダードを作成し、2中4小で一貫した指導を展開した。</p>	A	A
そ の 他	①今日的課題に対する指導	B	<p>・全盲を含む障がいのある生徒への支援体制のさらなる充実と専門性向上</p>	A	A
<p>【評価項目の設定、達成状況及び改善の方策に関する学校関係者評価委員の意見】</p> <p>・達成状況や改善の方策について、委員からの質問や意見交流後、すべて妥当な評価といただいた</p>					

・不登校生徒への支援について、今後も組織的な体制を維持・強化していただきたいとの意見をいただいた

【評点】 A：よい B：おおむねよい C：ややよくない D：よくない